

漢法苞徳塾資料	No. 046
区分	診断
タイトル	奇経の問題
著者	八木素萌
作成日	1995.01.15

◎奇経の重要な診察点

「陽蹻脈」

切診点……風府・風池・肩髃・巨骨・臑兪・居髃・跗陽・申脈・裏陽陵泉

運動診…… [首の前屈時または深い回旋時の違和感]

脈 診……

病 候……

流 注……

「陰蹻脈」

切診点……缺盆・交信・照海・石門・腎兪・大腿骨内側顆・次髃・踝痛。

運動診…… [首の左右屈時および肩の違和感]

脈 診…… [脈＝両手尺ともに沈緊而細、ただし寸や関の部に比し沈は浅く、
中脈や時に浮脈のよう]

病 候……

流 注……

「衝脈」

切診点……臑兪上約2寸・膝蓋骨前内側の上下・L_{1~4} 棘突起〔主に左側〕

公孫・三陰交・陰陵泉・気舎・臑兪。足の脾経上・胸腹の腎経上。

運動診…… [首の軽い回旋時の違和感]

脈 診…… [脈＝3部とも沈・もっとも深い部位・弦長堅実]

病 候……

流 注……

「帯脈」

切診点……臑兪下約2寸・膝蓋骨前外側の上下・帯脈・章門・臨泣・巨骨。

運動診…… [首の後屈時の違和感]

脈 診…… [脈＝両手関部の浮・滑而緊]

病 候……

流 注……

「任脈」

切診点……列缺・水分・陰交・石門・大腿骨内側踝・第2後仙骨孔・踝痛。

運動診……〔首の左右屈時の違和感〕

脈診……〔脈＝3部とも沈、ただし衝脈の脈状よりも浅い、緊細而長〕

病候……

流注……

「督脈」

切診点……督脈上・後谿

運動診……〔首の前屈時または深い回旋時の違和感〕

脈診……

病候……

流注……

「陽維脈」

切診点……風府・風池・臑兪・肩井・臂臑・天髎・居髎・外関・風市・陽陵泉・陽交

運動診……〔首の後屈時または左右側屈時(同時に肩)の違和感〕

脈診……

病候……

流注……

「陰維脈」

切診点……天突・内関・築賓・腹部の脾経上・肝経上

運動診……〔首の軽い回旋時の違和感〕

脈診……

病候……

流注……

〈参考〉

時任氏は、委中・衝陽・太衝の圧痛を診て脈診と対照して判断する。

委中＋・衝陽＋・太衝－の場合

肺体系として、任脈(肺)・陰蹻脈(腎)・陽維脈(大腸・三焦)・帯脈(胃・胆)を一連の関係として捉える。

委中－・衝陽－・太衝＋の場合

心体系として、督脈(小腸)・陽蹻脈(膀胱)・陰維脈(心・心包)・衝脈(脾・肝)を一連の関係として捉える。